

# § 横浜能楽堂普及公演 §

(横浜市立教職員向け)

◇平成9年8月27日(木)

第1回 午前10時30分開演

第2回 午後1時30分開演

能「土蜘蛛」(観世流) 寺井 栄 ほか

狂言「附子」(和泉流) 善竹 十郎 ほか

◇入場料 2,000円(全席自由)

## 解説

### 能・土蜘蛛

病床にある源頼光のところへ、胡蝶が典薬頭(医薬をつかさどる役所の長官)からの薬を持って見舞いにやって来ます。気が弱くなっている頼光を励まして、胡蝶は退場します。そこへ怪しげな僧が現れ、「我が背子が来べき宵なりささがにの蜘蛛のふるまいかねてしるしも」と古歌を詠じたかと思うと、頼光に蜘蛛の糸を投げかけます。頼光が太刀で斬りかかると、その蜘蛛の化け物は傷を負い、姿を消します。(中入り)

物音を聞いて駆けつけた独武者に、頼光はその間の事情を語ります。独武者は血の跡をたどって、化け物の退治をしようとします。武装した独武者は家来を連れ、出かけます。化け物の住む古塚を見つけ、それを崩すと、中から土蜘蛛が現れます。糸を出し、武者達を悩ませますが、ついに斬り伏せられます。

蜘蛛の糸を次々と鮮やかに繰り出すという演出が、他の能には例を見ない美しさです。

## 出演者プロフィール

### 寺井 栄

シテ方観世流、1947年生まれ、横浜市在住。笛方森田流・故寺井啓之の三男、長男は笛方森田流・寺井久八郎、次男は宝生流シテ方・寺井良雄。故25世観世左近に師事、日本能楽会員。

### 善竹 十郎

狂言方大蔵流、1944年生まれ。故善竹圭五郎の長男、父及び大蔵彌右衛門・祖父の故善竹弥五郎に師事、日本能楽会員。

問合せ 横浜能楽堂 ☎220 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2  
☎045-263-3050